

取組テーマ一覧

県では、少子高齢化等に伴う地域の様々な課題解決のため、専門性や活動実績等があるNPOや地域コミュニティ等との協働による事業実施を求めています。

担当課・地域	テーマ	背景・地域課題
<p>くらし共生 協働課 (くらし安全係)</p> <p>【県全域】※</p> <p>〔連絡先①〕</p>	<p>高齢者の関連する交通事故をなくすための地域環境づくり</p>	<p>本県の交通事故死者のうち、高齢者の割合は17年連続で過半数を占めており、死亡事故抑止のためには、高齢者対策は最重要課題である。</p> <p>また、全国的に認知機能低下や運動機能低下の疑いのある高齢者による重大事故も相次いで発生している。</p> <p>よって、高齢者の交通事故を防止するためには、高齢者の生活環境など地域の事情に応じた対策や地域コミュニティを活用した対策を推進する必要がある。</p>
<p>くらし共生 協働課 (くらし安全係)</p> <p>【県全域】※</p> <p>〔連絡先①〕</p>	<p>子ども見守り活動を継続的に実施できる体制の構築</p>	<p>子どもに対する声掛け、つきまとい等は後を絶たず、地域に不安を与えている。</p> <p>これを抑止するためには、地域住民等による見守り活動が効果的である。</p> <p>そのため、定期的な活動ができる団体等による広域的な見守り活動の推進や、見守り活動を行う地域の防犯ボランティア団体等の育成、活性化などにより、見守り活動を継続的に実施できる体制の構築等に取り組む必要がある。</p>
<p>かごしまPR課 (特産振興係)</p> <p>【県全域】※</p> <p>〔連絡先②〕</p>	<p>本格焼酎文化の再発見と継承による地域コミュニティの振興</p>	<p>本格焼酎は、農業・酒販業・料飲業等関連産業等多く、本県の主要産業となっている。その一方で、焼酎の出荷数量は10年以上連続で減少するなど、焼酎製造業は厳しい状況におかれている。さらに今後、人口減・高齢化の進展等により、国内消費のさらなる減少が予測される。</p> <p>一方で、近年焼酎においては、ウェルネスリカー（糖質ゼロ等）であることや新たな抗老化物質の発見、新しい飲み方（炭酸割り等）など新たな可能性が注目を集めているところである。</p> <p>については、県内各コミュニティ毎（本土2地域・離島1地域など）の従来ある焼酎文化、焼酎の効能の再認識及び継承を図るとともに、新たな焼酎を活用した地域振興を推進する必要がある。</p>
<p>自然保護課 (自然保護係・野生生物係)</p> <p>【県全域】※</p> <p>〔連絡先③〕</p>	<p>「生物多様性」を理解するための取組の促進</p>	<p>県では、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本計画として「生物多様性鹿児島県戦略」を策定し、国、市町村、NPO、県民等と協働して、「自然と共生する社会」の実現を目指しているところである。</p> <p>そのためには、多くの県民の意識向上が重要であり、人と自然のつながりを理解するための様々な取組を行うことが必要である。</p> <p>例：住民参加による外来種対策・希少種の保護活動、生物多様性保全に係る学習活動 等</p>

※【県全域】等は、事業実施地域を特定しないもの。

担当課・地域	テーマ	背景・地域課題
都市計画課（生活排水対策室） 【県全域】※ 〔連絡先④〕	生活排水対策に関する普及啓発	生活排水対策については、事業主体である市町村と連携を図りながら、生活排水処理施設の整備を促進し、公共用水域の水質保全と快適な生活環境の保全に努めることとしている。しかし、施設整備だけでなく、下水道や集落排水への接続、くみ取り槽や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するための普及啓発を促進する必要がある。
熊毛支庁 総務企画課 （地域振興係） 【種子島】 〔連絡先⑤〕	観光ガイドの育成と組織化による種子島の魅力の提供	屋久島では山岳ガイドや里めぐりのガイドがいて、また組織化もなされている。 一方、種子島では観光地整備と併せて島内観光地の道路標識やパンフレットなど作成しているが、観光ポイントへの行き方や、歴史などの紹介といった、観光客等への種子島の楽しみ方の提供が課題となっており、観光ガイドの育成と組織化が急務となっている。
大島支庁 瀬戸内事務所 総務課 （総務係） 【瀬戸内町・宇検村】 〔連絡先⑥〕	一人ひとりとの縁（えにし）を大切にしたい奄美の魅力発信	人が、地域のファンになって、何度も訪れたり、繰り返し特産品を購入したり、他者に訪問や購入を薦めたり、移住を希望するのは、そこに住む人の魅力やその人との縁によるのが大きい。しかし、これまでの行われてきた情報発信や交流のための観光PRや特産品販売等のイベントは、「人」の魅力が十分伝え切れていないことや一過性に終わっていることが課題となっている。 そのため、伝統文化・生活文化の継承や地域産業を支えてきた魅力ある「人」、特にこれまで、それらイベントに主体的に係わる機会が少なかった女性が、その地域生活者の視点を活かすとともに、多様な個性や能力、経験、ネットワークを発揮して、地域を情報発信する新たな取り組みが求められる。
県民交流C 男女共同参画推進課 【県全域】※ 〔連絡先⑦〕	地域づくりを推進する具体的なシチュエーション～男女共同参画の視点を取り入れた防災	性別、年齢や障害の有無、家族形態や経済力等、様々な社会的立場によって災害がもたらす影響は異なり、地域防災の取組を推進するにあたっては、地域における生活者の多様な視点を反映することが必要である。また、災害が発生すると、平時の固定的性別役割分担意識が強化され、男女で異なるニーズや状況が配慮されないなどの課題があることから、内閣府より「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」等も示されているが、その指針に沿った取組は、まだ十分に浸透していない状況にある。このようなことから、同じく内閣府が作成した「男女共同参画の視点からの防災」の研修手引書やシチュエーションシート集を活用することにより、災害発生時の様々な場面において、どのように行動するか、どのように備えるかを平時から考えておくなど、男女共同参画の視点を取り入れた地域防災の体制の確立に向けて取組を進める必要がある。

※【県全域】等は、事業実施地域を特定しないもの。

【連絡先一覧】

連絡先番号	担当課名（担当係名）	連絡先
①	くらし共生協働課 （くらし安全係）	電 話 099-286-2523 F A X 099-286-5524 E-mail kurashi-azen@pref.kagoshima.lg.jp
②	かごしまPR課 （特産振興係）	電 話 099-286-3050 F A X 099-286-5581 E-mail kagopr-bk@pref.kagoshima.lg.jp
③	自然保護課 （自然保護係）	電 話 099-286-2613 F A X 099-286-5546 E-mail sizenho@pref.kagoshima.lg.jp
④	都市計画課生活排水対策室 （生活排水係）	電 話 099-286-3685 F A X 099-286-5633 E-mail s-haisui@pref.kagoshima.lg.jp
⑤	熊毛支庁総務企画課 （地域振興係）	電 話 0997-22-0498 F A X 0997-23-1161 E-mail kumage-sochi@pref.kagoshima.lg.jp
⑥	大島支庁瀬戸内事務所総務課 （総務係）	電 話 0997-72-2111 F A X 0997-72-2204 E-mail seto-soumukakari@pref.kagoshima.lg.jp
⑦	かごしま県民交流センター 男女共同参画推進課	電 話 099-221-6603 F A X 099-221-6640 E-mail p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp